

海外顧客層を拡大  
利益面で期初計画を上振れ

デュアルタップ  
(3496J)

5月11日、東京23区内で投資用マンション販売や管理を展開しているデュアルタップ(3469)が2018年6月期第3四半期業績を発表した。

増収増益となる期初計画に対して進捗率が売上高81・7%、営業利益129・5%、経常利益142・2%、純利益136・7%と利益面で上振れた。自社で企画・開発したマンションの投資価値向上や、海外の顧客層拡大などが寄与した。

デュアルタップの業績	
■2018年6月期 第3四半期連結業績	
売上高	84億700万円(6.9%増)
営業利益	6億円(65.9%増)
経常利益	5億5200万円(98.8%増)
四半期純利益	3億6100万円(101.0%増)
■2018年6月期 通期連結業績予想	
売上高	102億8900万円(6.1%増)
営業利益	4億6300万円(2.1%増)
経常利益	3億8800万円(12.3%増)
当期純利益	2億6400万円(20.2%増)

※( )は前期比

駅から徒歩10分以内の立地を基準に、資産性と利便性を追求したマンション「XEBEC」の企画・開発を行っている不動産販売事業は売上高72億7000万円(前年同期比5・4%増)、セグメント利益4億8500万円(同81・8%増)。「XEBEC」分譲に加え、函館市に所有していた賃貸用ホテルを売却するなど、投資用マンション以外の不動産販売も進めた。

不動産賃貸管理・仲介事業は売上高10億700万円(同10・7%増)、セグメント利益9800万円(同19・6%増)。管理分野においては自社開発物件の分譲に伴い管理戸数が増加。また、地域の不動産仲介者との連携に加え、入居見込み客へ直接アプローチなど認知度の向上に努めた。仲介分野は子会社でインターネット媒体による集客見直しを図り、業務効率化および収益力拡大を図った。

海外不動産事業は売上高1億29

00万円(同107・6%増)、セグメント利益1000万円(同128・1%増)。海外子会社にてタイ

およびイギリスの不動産紹介ビジネスに注力し、活動エリアおよび顧客層を拡大。また、成長期待のあるマーケットとしてマレーシアの建物管理事業を推進した。また、セグメント上は不動産販売事業に含まれるが「XEBEC」を海外顧客へ分譲す

るインバウンドが好調であり、通期計画における連結売上高の約30%が海外顧客となる見込みだ。

同社は通期計画の修正は発表しておらず、下期は人材育成や管理体制の強化など、今後のための土台づくりに力を注ぐとしている。なお、2月9日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っており、今期の配当は1株当たり10円とする意向だ。